議会市民懇談会報告書

令和８年１０月２８日

山陽小野田市議会議長　髙　松　秀　樹　　様

民生福祉常任委員長　濱　本　健　吾

令和８年１０月２７日開催の議会市民懇談会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

１　開催日時　令和８年１０月２７日（火）　午後６時～午後７時４０分

２　開催場所　山陽小野田市役所３階　第２委員会室

３　申請団体等名称　スマイルCats（スマイルキャッツ）

４　参加人数　２０人

５　テーマ　飼い主のいない猫の地域の現状と助成金制度について

６　担当議員名　濱本健吾、伊場勇、大井淳一朗、藤谷圭子、前田浩司、山田伸幸、脇本直美

７　懇談会次第

（１）　開会挨拶

（２）　出席者紹介

（３）　テーマの趣旨説明

（４）　意見交換

（５）　閉会挨拶

８　意見交換の主な内容

●団体からの報告

・猫の繁殖力について、１回に４匹程度を産み、年２～３回出産し、生後半年程度で出産可能となるため、手術をしなければ爆発的に増えることの説明

・高齢者・生活困窮者が多頭飼いを行っている場合があり、そういった方が不妊去勢手術費用を賄えず問題となっている。行政はケアマネ等を通じてこの事実を把握していると思うが実態はどうなっているのかとの意見
・助成金の予算が２２０万円から１００万円に削減され、今年度は受付開始日に申請に行ったが既に終了していると言われるなど、必要な手術を進められず困っているとの説明
・現在の自治会申請の流れについて、自治会長の許可・同意が必要なため必要以上に手間となっているという説明
・希望する助成申請の仕組みについて、自治会の承認を条件とせず、自治会枠・団体枠・個人枠を設けてほしいという要望の説明
・保護した子猫は不妊去勢手術等を経て里親に譲渡しているが、譲渡会を開催していた市の施設（Ａスクエア）が使用できなくなり、開催場所の確保に苦慮しているとの説明

●団体との意見交換

【議員】　猫の寿命と生涯の出産回数はどのくらいか。

【団体】　野良猫の平均寿命は５年ほどで、１０歳を超える猫もいる。年３回、１回に４～５匹産むため、生涯で６０匹ほど産むことになる。１２～１３歳の猫でも出産する。

【議員】　ケアマネジャーの職域の問題もあり、縦割りの弊害が生じていると考えるが、関係機関の連携についてどう考えるか。

【団体】　民生委員が問題を抱えている場合もあり、行政だけでなく地域も一緒になって取り組んでいかなければならないと思う。

【議員】　現在の要件では地域猫に限定されているが、その枠を見直す必要があると考える。個人からの相談は団体に直接入る場合もあるのか。

【団体】　１日に３～５件、電話やSNS等で直接相談が入る。市に相談したが対応できないと言われたという相談も多い。

【議員】　自治会枠は現在の仕組みであり、団体枠を設ければ個人枠は不要ではないか。

【団体】　団体枠だけでは全て団体が対応しなければならない。団体は多頭飼育や高齢

者等の案件を担い、自分で手術に連れて行ける方には個人で申請していただきたい。

【議員】　決算審査の際に、申請受付を年２回とする考えが執行部から示されたが、どう考えるか。

【団体】　出産のピークは春であり、早い段階で手術しないと頭数が増えてしまうため、前半と後半に分けても効果はない。年度当初に十分な予算を確保していただきたい。

【議員】　助成額が２２０万円から１００万円に減ったとのことだが、どの程度必要か。

【団体】　２２０万円でも年度途中で終了した。宇部市は約４００万円であり、本市でも４００万円程度を確保していただきたい。

【議員】　Ａスクエアで譲渡会ができなくなった理由は何か。

【団体】　一般市民から苦情があったと聞いているが、連絡先がつながらず、原因は分からない。他市では行政の施設で譲渡会が行われている。

●団体側からの意見

・助成金の予算を増額し、年度途中で終了することがないようにしてほしい。
・自治会の承認を条件とせず、自治会枠・団体枠・個人枠により申請できる仕組みを来年度から設けてほしい。
・生活困窮者や高齢者等が手術費用を負担できない現状に対し、福祉部門と環境部門が連携して対応してほしい。
・市の施設で譲渡会を開催できる場所を確保してほしい。
・市の連絡先を記載した啓発チラシを作成し、市報等で周知してほしい。